

## 1. 学校教育目標(これは本校不変の、信念・理念とも言うべき事柄である)

人間尊重を基盤として、

社会の変化に惑わされることのない正義感と志をもち、

仲間を大切にする心をもつ、豊かな人間性の育成。

## 2. 今年度の重点課題

①「学力向上」「規範意識の向上」のための学習集団づくり

②「平和」で「落ち着いた」学校づくり

※今年度の重点課題達成のために、常に意識して取り組む内容※

- ◆言語活動の充実・コミュニケーション能力の育成「京都市の重点」
- ◆規律ある生活習慣・ルールを守る態度の育成「京都市の重点」
- ◆「学級経営力」の向上と「学級の力」の育成
- ◆「小中連携」した義務教育9年間を見通した体制づくり
- ◆笑顔と感動と未来を創り出す「梅津の志」の徹底
- ◆危機管理意識・服務規定や公務員としての倫理観の向上
- ◆強固な学校体制の継続(つなぎ引き継ぐ)

### (1)学力向上のために

- 授業規範が確立された授業の成立と家庭学習の定着、課外学習の充実。
- 授業の工夫と改善を繰り返し進化させる。
- 評価・評定を活かした学習指導計画を作成する（指導と評価の一体化）。

### (2)規範意識の向上のために

- 学校は、公共性を重視され、現実原則を学ぶ場であることの理解。
- 学校という公的な場では自己中心的な考えは優先されないことの理解。

### (3)平和で落ち着いた学校のために

- 教職員・生徒・保護者が真剣に正面から課題に向き合い、その課題解決を通じて個と集団の成長と信頼関係の構築を目指す。(何もない学校が理想ではない)
- ひとりひとりの居場所があり、個々の存在価値が認められ、理解してくれる友人や先生がいる。
- 道徳と人権学習を重視し、人間尊重・正義感・豊かな心・仲間を大切にする心の育成を目指す。
- 「いいことば」が自然に遣え、明るく大きな声であいさつが交わせる集団をつくる。

### (4)強固な学校体制の継続のために

- 校務支援システムの導入による業務の簡略化
- 急速に増える若手教員の育成と中堅教員のレベルアップを図る。
- 学年主任・分掌主任の職務内容、学校行事や取り組みの継承と引き継ぎ。
- 報告・連絡・相談(ほうれんそう)の徹底。ただし相談は、自分の考えを持って行う。